

研究員が表彰されました！

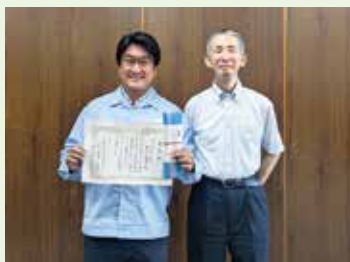
全国環境研協議会
関東甲信静支部 支部長表彰 受賞

気候変動・環境エネルギー研究科 國分 優孝 主任研究員

受賞に至った経緯や今後の抱負について（本人より）

これまで大学や企業研究所にて培ってきた海洋学・流体工学の知見を基に、当研究所において、大気環境保全や都市緑地に関する調査研究に10年間従事してまいりました。この度、これまでの取り組みをご評価いただき、栄誉ある賞を賜りましたことは身に余る光栄です。本受賞は、多大なるご指導とご支援をいただきました地方環境研究所、ならびに当研究所の皆様の支えによるものと、ここに深く感謝申し上げます。この受賞を励みに、今後とも環境行政の一助となる調査研究に尽力してまいります。

※全国環境研協議会は、環境に関する試験・調査・研究活動を通じて、地域住民の健康の保護と、生活環境の保全に寄与することを目的として、昭和46年11月に全国地方自治体の試験研究機関を会員として発足しました。現在は都道府県市の67の試験研究機関が会員となっており、広報部会、企画部会、酸性雨広域大気汚染調査研究部会、環境生物部会及び精度管理部会の5部会で種々の活動を行っています。



左) 國分研究員 右) 今村所長



CONTENTS

研究員が表彰されました

1

活動報告

外部研究評価委員会を開催しました

2

活動報告

東京都環境科学研究所 施設公開
Let'sサイエンス2026を開催しました！

3

『涼を楽しんで学ぼう！
～気候変動のお話と打ち水体験～』開催

5

お知らせ

研究員による食ロス講義と見学会で
自分たちの「これから」を考えませんか？

5

資料室だより VOL. 32

6

お知らせ

研究所年報2026を発行しました

6

活動報告 外部研究評価委員会を開催しました

令和8年6月4日(木)10:00～16:00、当研究所にて外部研究評価委員会を開催しました。

当委員会は東京都からの受託研究を効果的かつ効率的に行うため、外部から環境に関する専門家を招き、それぞれの立場から研究内容に関する評価やご意見をいただくものです。

審査内容は以下の通りです。

- (1) 令和7年度終了研究の事後評価について
- (2) 令和8年度継続研究の中間評価(令和7年度実績)について
- (3) 令和8年度新規研究計画の事前評価について



委員会風景

審査対象研究一覧

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 水素エネルギーの実装化に向けた調査研究 |
| 2 | 都有施設のゼロエミッションビル化に向けた調査研究 |
| 3 | 脱炭素化に向けた中小規模事業所対策の調査研究 |
| 4 | 都市部における生ごみなどバイオマス系資源焼却に頼らない循環利用に関する研究 |
| 5 | 熱分解GC／MSによるプラスチックの分析に関する研究 |
| 6 | 使い捨てプラスチックの削減による環境負荷低減の検証に関する研究 |
| 7 | 再資源化の見える化に資する研究 |
| 8 | 東京湾沿岸域における底層環境改善に関する研究 |
| 9 | 都内河川における衛生指標細菌の発生源の推定に関する研究 |
| 10 | 東京における地下水の実態把握に関する研究 |
| 11 | 保護上重要な野生生物種の保護策強化に向けた調査研究 |
| 12 | 特定外来生物キョン防除事業の強化に向けた調査研究 |
| 13 | 自動車環境対策の総合的な取組に関する研究 |
| 14 | 微小粒子状物質の濃度低減等に関する研究 |
| 15 | 高濃度光化学オキシダントの低減対策に関する研究 |
| 16 | 有害化学物質によるリスク評価及びその危機管理に関する研究 |
| 17 | 有機フッ素化合物の農作物への濃度実態の把握に関する調査研究 |
| 18 | 災害時等におけるPFAS分析対応能力の向上に関する研究 |

評価は6名の委員が研究ごとにA～Dの4段階評価と記述により行います。評価結果は取りまとめ次第、当研究所のホームページに掲載します。

<https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/results>

外部研究評価委員会HP



📖 活動報告 東京都環境科学研究所 施設公開 「Let's サイエンス2026」を開催しました!

研究調整課 企画調査係 黒田 真由美

7月18日(土曜日)、当研究所では日頃の活動や施設を皆さまに知っていただくため、施設公開イベント「Let's サイエンス2026」を開催しました。今年も研究員等による科学実験教室や参加型ワークショップなど、わくわくするような企画が盛りだくさん!

当日は492名の方にご来場いただきました。どのコンテンツもたくさんの笑顔と驚きがあふれ、終始和やかで賑やかな雰囲気に包まれました。今年度は全コンテンツを研究所内で実施し、冷却パックや飴をお配りするなど、暑さ対策にも配慮いたしました。

来場者アンケートでいただいたご意見・ご感想は今後の研究や施設公開などに活かしてまいります。

当日の様子やコンテンツ紹介動画は、研究所のHPに掲載していますので、ぜひチェックしてみてください。皆さまのまたのご来場を心よりお待ちしております!



冷却パックを作ろう!
～科学の力でひんやり体験～



生き物のDNAを抽出してみよう
バナナや野菜からDNAを取り出してみよう!



レアメタルはどこにある?
快適な生活を支えてくれるレアメタルはどこにある?



東京の水環境を考える
水中の生き物と地下水の様子



身近な水を調べてみよう Let's 水質分析



発電を体験しよう! 水素発電と太陽光発電を体験!



NEW

紫キャベツの煮汁は「魔法の検査薬」



キミも科学者になろう! 写真館



夏休み自由研究を相談しちゃおう
夏休み自由研究窓口



知って学んで。始めてみようゼロエミ
ゼロエミッションを学ぼう

当日の様子動画をHPで公開しております!

Let'sサイエンス2026 ～東京都環境科学研究所 施設公開～ 研究所で体験する"科学のワクワク"

当日の様子を公開しております。施設公開ってどんなイベント?どんなコンテンツがあったの?皆さんに知っていただければ嬉しいです。また、人気コンテンツの一つである[冷却パックを作ろう!～科学の力でひんやり体験～]の作り方、使い方動画も公開しておりますので是非ご覧ください。

Let'sサイエンス2026
～東京都環境科学研究所 施設公開～
研究所で体験する"科学のワクワク"(約5分)

<https://youtu.be/NQudP2A4j6A>



冷却パックを作ろう!
～科学の力でひんやり体験～

<https://youtu.be/EfcC45IEq9U>



※約1分30秒のショートver.もございます(詳しくは研究所HPへ)

施設公開の詳細は研究所HPをご覧ください↓

施設公開ページ

<https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/meeting/open-facility>



『涼を楽しんで学ぼう!～気候変動のお話と打ち水体験～』開催

東京都気候変動適応センター

令和8年7月29日(水)に、青梅市主催のイベント『涼を楽しんで学ぼう!～気候変動のお話と打ち水体験～』が開催され、東京都気候変動適応センターの職員が講師を務めました。当日は、小学1年生から中学2年生までの約30名の方にご参加いただきました。はじめに、気候変動や熱中症について学び、屋外や室内の四か所で気温と暑さ指数を測定しました。その結果は次のようになりました。

	屋外(日なた)	屋外(建物の影)	屋外(グリーンカーテン)	室内
気温	38.1℃	30.4℃	30.9℃	25.0℃
暑さ指数	31.6℃	25.7℃	26.6℃	21.3℃

このような数値の違いから、日なたと日かげでの熱中症リスクの違いを学んでもらいました。

続いて、気化熱の実験では、腕に霧吹きで水をかけて温度が下がる仕組みを体験し、サーモカメラを使って温度が下がる様子を視覚的にも感じてもらいました。

最後に、外に出て打ち水体験を行いました。打ち水後には、気温と暑さ指数が実際に下がることも確認しました。

参加後のアンケートでは、「楽しかった」「地球温暖化について知れてよかった」などの声をいただきました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。東京都気候変動適応センターでは、都内の区市町村、団体、都内事業者へ出前講座、都内小中学校等への出前授業を行っています。気候変動の影響や今後の予測を中心に、緩和策や適応策の紹介等、ご要望に応じて構成をアレンジいたします。ぜひお気軽にご相談ください。



研究員による食ロス講義と見学会で自分たちの「これから」を考えませんか？

研究員の講義と埋立処分場見学会 開催地：環境局中防合同庁舎 のお知らせ

研究調整課 企画調査係 黒田 真由美

東京都環境科学研究所の研究員の講義と「東京港内最後の埋立処分場」の見学を通じて、ごみ問題について考える見学会です。

■食品ロス関連講義(10月21日、12月9日)

日常生活で食べられるにも関わらず捨てられている食品について考え、食品廃棄物を発生させない工夫を学ぶ事ができる講義を予定しています。

講義後に廃棄物中間処理施設・埋立処分場見学を実施します。

廃棄物処理の視点から環境問題を考え、理解していただけるようご説明いたします。



昨年度の様子

場 所	環境局中防合同庁舎
時 間	13:20～16:00
定 員	40名 (1グループにつき10名まで申込可) ※お申込みは先着順です。
申込期限	見学日の7日前まで
参加費	無 料

詳細・申込はこちら→

※公益財団法人東京都環境公社
研究員の講義と埋立処分場
見学会のページにアクセス

<https://www.tokyokankyo.jp/learn/kenkyu/>



開催予定日	開催内容	対象
令和8年 10月21日(水)	食ロス講義と埋立処分場見学	16歳以上
令和8年 12月 9日(水)		

お問い合わせ

公益財団法人東京都環境公社
中防管理事務所 見学担当

【電話番号】 03-3570-2230

【Eメール】 chubo-ecotour@tokyokankyo.jp

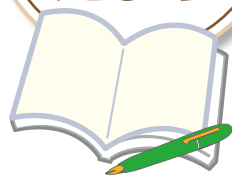
【受付時間】 平日 午前8時15分～午後4時45分



資料室

・VOL.32・

だより



環境DNAとは、水や大気、土などの環境サンプルに存在するDNAのことです。生物を直接捕獲せず、水などの環境中に含まれる環境DNAを用いて生物の生息情報を取得することができます。短時間でさまざまな生物種を把握できるため、生物多様性の評価ツールとして注目されています。そこで今回は、「環境DNA」について書かれた本をいくつかご紹介します。

●「DNAとはなんだろう 「ほぼ正確」に遺伝情報をコピーする巧妙なからくり」

武村政春著 講談社 令和6年(2024年)8月発行 (ブルーバックス B-2269)

DNAをさまざまな観点から紐解いています。遺伝子に関する考察は避けて、DNAの〈物質的な〉側面と、複製し、変異し、動き回るといふ〈行動的な〉側面を強調してDNAを解き明かしています。

●「環境DNA入門 ただよう遺伝子は何を語るか」

源利文著 岩波書店 令和5年(2023年)6月発行 (岩波科学ライブラリー 315)

環境中に存在するDNAから、周辺に生息する生物の情報を得ようとする「環境DNA分析」に焦点を当て、そこから何がわかるのか、どのように役に立つのか、将来的な発展の方向性など、環境DNA分析にかかわる現時点での最新の内容を盛り込んでいます。

●「環境DNA 生態系の真の姿を読み解く」

土居秀幸 近藤倫生編 共立出版 令和5年(2023年)5月発行

リアルタイムPCRなどによる種特異的な環境DNA手法、環境DNAメタバーコーディングによる群集網羅的解析手法について、多くの応用事例を交えて紹介しています。さらに、ANEMONEプロジェクトに代表される、日本全国にわたる環境DNAメタバーコーディングの大規模生態系観測の展望、環境DNA技術の今後の進展・応用の可能性について紹介しています。

目 お知らせ

研究所年報2026を発行しました

令和7(2025)年度の研究等の成果を取りまとめた「東京都環境科学研究所年報2026」を発行しました。資源循環、生物多様性、水・土壌環境、環境エネルギー、大気環境、自動車環境対策など広範囲な分野にわたる調査研究報告を掲載しています。

当研究所ホームページにデータの掲載を予定しています。そちらからもご確認いただけます。

バックナンバーについても同ページからご確認いただけます。

<https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/meeting/report>



研究所HP
年報ページ

●記事へのご意見がございましたら下記へお寄せください。

【発行】東京都環境局総務部環境政策課

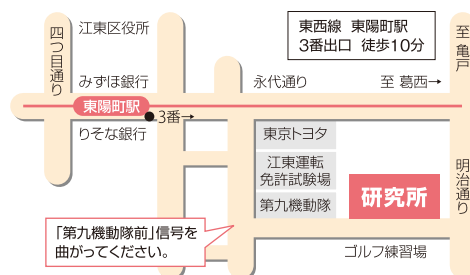
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL 03 (5388) 3426 (ダイヤルイン)

【編集】公益財団法人 東京都環境公社 東京都環境科学研究所

〒136-0075 東京都江東区新砂一丁目7番5号
TEL 03 (3699) 1333 FAX 03 (3699) 1345
2026年9月発行
メールアドレス / kanken@tokyokankyo.jp

登録番号 第(4)103号
環境資料第38026号

ホームページ <https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。